

製品名: MUC16 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82500**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	1519kDa

抗原情報

遺伝子名	MUC16
別名	CA125
遺伝子 ID	94025.0
SwissProt ID	Q8WXI7
免疫原	大腸菌で発現したヒト MUC16 (AA: 追加 1-200) の精製組換え断片。

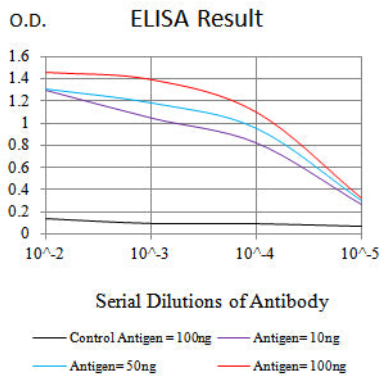
背景

この遺伝子は、ムチンファミリーに属するタンパク質をコードしています。ムチンは高分子量の O-グリコシル化タンパク質であり、粘液バリアの形成に重要な役割を果たし、上皮の頂端表面に存在します。コードされているタンパク質は膜結合型ムチンで、アミノ

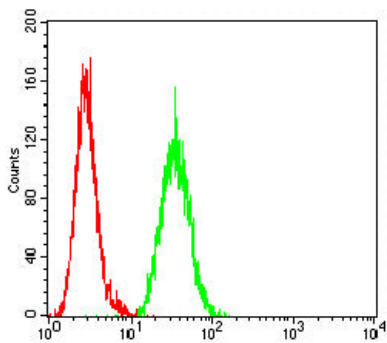
末端に細胞外ドメイン、大きなタンデムリピートドメイン、そして短い細胞質ドメインを含む膜貫通ドメインを有しています。アミノ末端は高度にグリコシル化されており、リピート領域にはセリン、スレオニン、プロリンを多く含む 156 個のアミノ酸リピートユニットが含まれています。リピート内には、ウニ精子タンパク質エンテロキナーゼおよびアグリン (SEA) モジュール、ロイシンリッチリピート、アンキリン (ANK) リピートが散在しています。これらの領域は細胞外ドメインを形成し、膜貫通ドメインに近い SEA モジュール付近に切断部位となる可能性のある部位が存在します。このタンパク質はバリアを形成し、上皮細胞を病原体から保護する役割を果たしていると考えられています。この遺伝子産物は様々な癌のマーカーとして用いられており、発現レベルが高いほど予後不良と関連しています。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



MUC16 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。